出力日：令和07年03月18日

事務事業名 保育所地域活動事業

キーコード：316

施　　策：	17	子育て支援の推進	財務コード	01030208-02-261
基本事業：	04	幼保サービスの充実	担当部	こども部
基本事業の成果指標	①待機児童数（保育所） ②待機児童数（放課後児童クラブ） ③保育サービスの満足度		担当課	下見保育所
			担当係	下見保育所

事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～	新規・継続	継続	会計区分		実施計画	

１．対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民　特に（就学前の乳幼児とその保護者）
（小・中学生・大学生）
（地域高齢者）
・入所児童

２．手段（事務事業の内容、やり方、手順）

①高齢者交流→地域の高齢者を保育所に招いたり地域へ出かけ交流を行う
等日頃より世代間の触れ合い活動を行い交流する。

②保育交流では、毎週水曜日は就学前の乳幼児とその保護者に保育所を開放し子育てを支援する。

③職場体験→次世代育成の為、地域の子ども会・小学生・中学生・大学生の体験学習、及び実習を受け入れている。

３．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・次世代の育成を通し子育てに関心を持ってもらい人権問題に対する認識を高めます。
・世代間交流を通し地域の人の人間性や力強く生活している姿に直接触れ、人に対する優しさや思いやりなど、身体で感じ豊かな感性が育ちます。

４．成果（簡易評価は未記入）

成果指標名称	単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
・地域活動年間交流回数	回	8	46					
・保育交流年間参加総人数	人	13	27					

５．コスト

事業費	計	千円	48	631	101	117			
	国	千円	0		0	0			
	県	千円	0		0	0			
	地方債	千円	0		0	0			
	その他	千円	0		0	0			
	一般	千円	48	631	101	117			
正職員人工数		人工	1	1					
正職員人件費		千円	7,728	7,815					
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)		千円	7,776	8,446	101	117			

６．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）

○あがっている
●どちらかといえばあがっている
○あがっていない（停滞・低下）

・次世代育成のための保育実習の受け入れを実施。
・保育交流は公立四保で当番制による第三水曜日のみ園庭開放とする。少しずつ参加が増えている。
・地域交流・高齢者交流は感染症拡大防止のため、時期や内容を変更しながら実施することができた。

７．評価及びコメント（簡易評価は未記入）

対象動向	増加	類似事業	なし
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし
成果向上余地	大きい		

・感染症拡大防止のため、実施内容は変更せざるを得ないことが多々あったが、交流回数は増やすことができた。

８．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）

■改善方向性　●維持　○見直し　○廃止　○事業終了

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持／事業終了の場合は記入する必要なし）

今後も同和保育所として人権保育(教育)を基盤に高齢者・小中学校交流など、地域の実態に対応した事業を展開していきたい

■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）

・地域社会に開かれた児童福祉施設として地域の子育てや、支援センター的役割りを担い、保育を通じて子どもの健全育成及び子育て家庭の支援を目的とする。・地域社会が子ども達の健全育成を願い地域や筑山中学校区の小中学校や保護者等と連携して様々な体験の場を作り取り組んでいる。

■備考･特記事項ｏｒ進行管理欄

特に無し